

SPODフォーラム

日 時：平成28年8月24日（水）～26日（金）
場 所：愛媛大学城北キャンパス
主 催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）
全体テーマ：「経験を学びに変える」
参加費：SPOD加盟校の教職員 無料
SPOD加盟校以外の教職員 7,000円
参加者数：503名（延べ1,469名）

SPODフォーラムとは

大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD・SDプログラムならびに組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場

特徴

1. 多彩な講師陣
2. 職場で使える実践型プログラム
3. SDプログラムも多数開講

実施内容及び成果

あらゆる立場の教職員が、その場でスキルアップにつながるような実践的なプログラムを提供することを目的として、8月に愛媛大学において「SPODフォーラム2016」を開催した。全体テーマ「経験を学びに変える」のもと、3日間で全38講座を開講した（ポスターセッションを除く）。「経験から学ぶ力を育てる」「経験学習入門」「ラウンドテーブル 学生の経験を学びに変える」といった全体テーマに直接関連したプログラムはもちろんのこと、時代のニーズや過去のアンケートから求められている多様な内容を取り上げプログラムを実施した。

シンポジウムでは、「経験を学びに変える教育と能力開発」をテーマに、シンポジスト3名による講演及びパネルディスカッションを実施した。講演では主に各大学における実践事例の紹介があり、その後フロアを交えパネルディスカッションを行った。全体を通して、「どのように学生の経験を主体的な学びに変えることができるか」「学生の学びを支援する教職員にはどのような能力開発が求められるか」という2つのアプローチから、現状と課題を参加者と共有した。参加者からは、「学生と職員の交流が及ぼす効果を今後活用してみたいと思った」「学生の能動性を高める働きかけ、教育的介入について自分なりに理解できたことが良かった」等のコメントがあった。シンポジウムの講演記録は111～135ページに掲載している。

トップリーダーセミナーでは、「大学ガバナンスとリーダーシップ」を実施した。本セミナーは、大学等の経営管理を担うために必要な情報を収集し、トップリーダーとしての能力を高めることを目的としており、全国から87名の教職員が参加した。受講者からは、「ガバナンスとリーダーシップについて時系列に簡潔かつ充実したまとめがされていて、知識の整理に大変役立つ内容でした。」等の意見があった。

また、昨年度から実施しているポスターセッションを今年度も初日の夕方に実施し、加盟校内外から27組（うち加盟校（代表発表者の所属）11、加盟校外16）の取組発表があった。参加者からは、「ポスターセッションで他大学の取り組みを知ることができた」とのコメントがあるなど、参加者間の情報交換の場としても大いに活用された。

本フォーラムには加盟校の教職員を中心に全国から503名（延べ1,469名）の参加があり、フォーラム終了3週間後からWeb回答形式で実施したアンケートでは、回答者の約86%から「フォーラムで得た知識やスキルを活用している」と回答があった。また、過去最高となる約

99%から「満足」という評価を得た。事後アンケートでは「SPODフォーラムへの要望」についても同時に調査しており、今年度は昨年度までの要望を反映して人気の高いプログラムを2回開講したり、1コマ3時間枠プログラムを設ける等の対応をした。また、今年度から申込みフォームのシステムを改善し、定員に達し次第自動的に申込みを締め切る機能を追加した。このことにより最新の受付状況を申込みフォームから随時確認できるようになったほか、受講者への申込み受付完了の連絡をよりスムーズに行うことができた。

なお、今年度の参加者からの要望では、「加盟校外教職員の申込み枠を設けて欲しい」等の意見が寄せられた。今年度フォーラム参加者の割合は、昨年度同様、加盟校外教職員が約4割を占めており、本フォーラムが全国に定着していることが伺えることから、希望するプログラムを可能な限り受講できる方法がないか等、今後SPODネットワークコア運営協議会（以下「コア運営協議会」という）において検討し、次年度以降の運営改善の参考とする予定である。なお、アンケート結果及び参加者からの要望等については30～39ページに詳細を掲載している。

フォーラムの運営については、開催校の愛媛大学のみならず、愛媛県内各加盟校の職員が運営スタッフとして携わるなど、設置形態を超えた連携協力により円滑に実施された。また、教職員の人事交流の場としても活用された。



SPODフォーラム2016 プログラム別受講者数一覧

平成28年8月26日現在

日時	番号	プログラム名	教員	職員	学生/ 大学院生	その他	計
8月24日(水) 1時限	2401A	社会連携系職員養成プログラムレベルI 地域特性論-地域課題の抽出と住民による解決に向けての合意形成づくり-	10	15	0	0	25
	2401B	大学の危機管理-事例から考えるハラスメント-	10	10	0	0	20
	2401C	大学職員の基礎力を考える	3	27	0	0	30
	2401D	大学組織を理解する	18	34	0	1	53
	2401E	大学における障害学生支援とは? -障害者差別解消法と合理的配慮-	11	34	0	0	45
	2401F	アイスブレイクの技法	25	3	0	0	28
8月24日(水) 2時限	2402A	理工系講義形式授業において学生の学習を促進する授業デザイン	23	3	0	0	26
	2402B	始めよう、仕事の整理と協働	0	24	0	0	24
	2402C	経験から学ぶ力を育てる	10	30	0	0	40
	2402D	反転授業をやってみよう	40	7	0	1	48
	2402E	教育・学修支援を担う図書館員の能力開発-求められる知識・スキルを再考する-	2	47	0	0	49
	2402F	質問を変えると授業が変わる?!!	29	2	0	0	31
8月24日(水) 3時限	2403A	知財リスク対応の基礎知識並びに知財人材育成の授業デザイン	5	18	0	0	23
	2403C	クリティカルシンキングを促す課題設定をしよう	25	1	0	0	26
	2403D	ルーブリック評価入門 -考える、つくる、活用する-	29	11	0	0	40
	2403E	大人数講義法の基本	39	18	0	2	62
	2403F	経験学習入門	9	25	0	0	34
8月25日(木) 1時限	2501A	研究指導入門-卒論作成を支援する-	45	2	0	0	47
	2501B	学生対応の心得・入門編 -職員として気がかりな学生とどう向き合うか-	1	23	0	0	24
	2501C	日常の経験知で仮説を立て、学内にあるデータを検証する -データを活用した予防的・開発的学修支援をはじめませんか?-	11	18	0	0	29
	2501D	部下を育てる評価のコツ-自己理解と他者理解を踏まえて-	2	22	0	0	24
	2501E	国際連携系職員養成プログラムレベルI 海外派遣入門	18	36	0	2	56
	2501F	コーチング入門	6	29	0	0	35
8月25日(木) 2時限	2502A	グラフィック・シラバスを書こう!	19	1	0	1	21
	2502B	思考プロセスの「見える化」と共有 -話し合いの生産性を高めよう-	15	13	0	0	28
	2502C	始めよう!アクティブ・ラーニング-協同学習・文章作成の技法編-	23	0	0	0	23
	2502E	トップリーダーセミナー 大学ガバナンスとリーダーシップ	18	68	0	1	87
	2502F	ディープラーニングに誘うアクティブ・ラーニングの手法 -物理,化学の実践例より-	28	7	0	0	35
8月25日(木) 3時限	2503G	【シンポジウム】「経験を学びに変える教育と能力開発」	103	115	0	2	220
8月26日(金) 1時限	2601A	視覚障害学生支援の基礎-テキストデータ化の体験-	6	15	0	0	21
	2601B	研究支援職員としての基礎知識-ゼロから始める研究者との協働-	0	14	0	0	14
	2601C	教育データ解釈入門I & II	18	20	0	0	38
	2601D	ルーブリック評価入門 -考える、つくる、活用する-	28	6	0	0	34
	2601E	管理職・監督職のためのリーダーシップセミナー	3	34	0	0	37
	2601F	学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計-課題分析図の活用-	21	0	0	0	21
8月26日(金) 2時限	2602A	聴覚障害学生の主体性を引き出す支援-パソコンノートテイクの体験をととして-	5	9	0	0	14
	2602B	ラウンドテーブルこれからのSDを考える	2	20	0	0	22
	2602D	ラウンドテーブル 学生の経験を学びに変える	19	11	0	0	30
合計			679	772	0	10	1464

※ポスターセッションのみ参加(プログラム受講なし)の5名(教員4名、その他1名)を含め、8/24~26延べ参加者数1469名

SPODフォーラム2016ポスターセッション「優秀ポスター賞」受賞取組一覧

投票場所:ポスターセッション会場(共通講義棟B・2階201講義室)

投票期間:平成28年8月24日(水)17:40-25日(木)13:00、表彰式:平成28年8月25日(木)情報交換会時

分類	タイトル	発表代表者			共同発表者
		氏名	所属	SPOD 加盟校	
B	大学教職員の自己啓発を促す図書提案と効果	加地 真弥	愛媛大学	○	
A	金沢大学ケースメソッド実践力強化プロジェクト	松村 典彦	金沢大学		近藤 真史, 三島 卓也(金沢大学)
A	TOEFLチュータープログラム—学習者の経験と内省—	林 千絢	神田外語大学		大場 枝里, 辻りこ, ホール 真由子 (神田外語大学)
B	理工系分野におけるFDプログラム開発と今後の展望	榊原 暢久	芝浦工業大学		吉田 博(徳島大学)

SPODフォーラム2016 ポスターセッション取組一覧

分類A:経験学習 15件

分類B:FD/SD一般 12件

日時:平成28年8月24日(水)17:40~19:00、会場:共通講義棟B・2階201講義室

ポスター 番号	分類	テーマ	発表代表者			共同発表者
			氏名	所属	SPOD 加盟校	
1	B	SPODが及ぼす組織変容の研究	塩崎 俊彦	高知大学	○	杉田 郁代, 立川 明(高知大学)
2	B	大学教職員の自己啓発を促す図書提案と効果	加地 真弥	愛媛大学	○	
3	A	経験則を経験知へ—前例を見直し新たな知の構築へ—	中村 章二	愛知教育大学		
4	B	比治山大学IR委員会における職員育成に係る取組み	松村 さとみ	比治山大学		松村 敏博(比治山大学)
5	B	職員IRフォーラム(SIR)の実践報告	荒木 俊博	淑徳大学		上島 洋佑(金沢大学)
6	A	徳大COC+中期インターンシップ体系化の取り組み	川崎 修良	徳島大学	○	川崎 克寛, 堺 里絵, 森脇 一恵, 宮本 紀子 (徳島大学)
7	A	全学必修科目「地域学実習」実施による学生の意識変化	一色 健司	高知県立大学	○	
8	A	低年次を対象とした東京PBL合宿の効果検証(サービスラーニング)	杉田 郁代	高知大学	○	塩崎 俊彦, 池田 啓実(高知大学)
9	A	金沢大学ケースメソッド実践力強化プロジェクト	松村 典彦	金沢大学		近藤 真史, 三島 卓也(金沢大学)
10	A	学科学年横断型PBL科目Co+workでの経験学習	佐伯 亮太	明石工業高等専門学校		平石 年弘(明石工業高等専門学校)
11	A	芝浦工大の体系的PBL学修による人材育成とその課題	坂井 直道	芝浦工業大学		井上 雅裕, 長谷川 浩志, 榊原 暢久, 鈴木 洋 (芝浦工業大学)
12	A	体験学習の体系化—教職協働による仕組みづくり—	高良 要多	桃山学院大学		
13	A	慢性期看護学における行動変容自己実践プログラム	二本柳 圭	高知学園短期大学	○	池田 恵美子, 下元 理恵(高知学園短期大学)
14	A	行動型・参加型学修を基盤とするAL推進の取組	五條 小枝子	県立広島大学		川口 博之(県立広島大学)
15	A	経験とふりかえりで能力を伸ばすサービスラーニング	立川 明	高知大学	○	
16	A	国際教育を主眼とした日韓遠隔協働学習授業の構築	大塚 薫	高知大学	○	斎藤 麻子(韓国明知大学校), 林 翠芳(高知大学)
17	A	TOEFLチュータープログラム—学習者の経験と内省—	林 千絢	神田外語大学		大場 枝里, 辻りこ, ホール 真由子 (神田外語大学)
18	B	理工系分野におけるFDプログラム開発と今後の展望	榊原 暢久	芝浦工業大学		吉田 博(徳島大学)
19	B	初年次教育への導入を通じたALの全学的普及の取組	新原 将義	徳島大学	○	久保田 祐歌, 吉田 博(徳島大学)
20	A	演習授業を深い学びへ誘うための試み	長谷川 紀幸	横浜国立大学		
21	B	教職共同による準正課教育のトライアルから恒常化へ	新正 裕尚	東京経済大学		角田 浩司, 久世 泰子, 相澤 伸依, 榎 基宏, 板橋 雄大, 大久保 奈弥, 阿部 弘樹, 清原文, 田中 理沙(東京経済大学)
22	B	教職員・組織全体の教育力向上に資する取り組み	Mazur Michal	北海道大学		山本 堅一(北海道大学)
23	A	「組織を改善するアクティブ・ランチミーティングの試み」	青山 貴子	山梨学院大学		石川 勝彦(山梨学院大学)
24	B	Actionに資する教学IR—関西大学におけるオーダーメイド型IRによる取組—	紺田 広明	関西大学		森 朋子(関西大学)
25	B	正課科目における成績と分野横断的能力との相関分析	松本 高志	阿南工業高等専門学校	○	小松 実, 山田 耕太郎, 川畑 成之, 太田 健吾, 菊池 弥生(阿南工業高等専門学校)
26	B	福岡歯科大学におけるディプロマポリシー・学士力の認知度について	内田 竜司	福岡歯科大学		児玉 淳, 赤間 尚希, 川辺 里美(福岡歯科大学)
27	B	男女共同参画推進に関する学生への意識啓発	桐木 陽子	松山東雲短期大学	○	郡司島 宏美(愛媛大学)